



Vol.12 令和8年7月発行

生活支援コーディネーター NEWS

◆ 住み慣れた地域 磐田で 自分らしく暮らし続けられることを目指して

【生活支援コーディネーター(SC)とは！】

地域にある資源を活かして、地域の支え合いを推進する役割を担うのがSCです。市民の皆様が住み慣れた地域で「支え合い」「つながり」の活動に出会い、自分らしく暮らし続けられることを目指して支援をします。

SCニュースでは、住み慣れた地域で知恵と力を合わせて活躍されている市民の皆様や、SCの活動を紹介します。

(※SCは、市福祉政策課職員と市社協職員が担っています。)



向笠地区

音楽がつなぐ地域の居場所づくり ～男性も集えるふれあいサロンへ～

高齢者ふれあいサロンでは、女性の参加者が多く、「男性にももっと参加してほしい」という声をよく耳にします。男性が参加しやすいきっかけづくりは、多くの地域で共通する課題です。「レコード喫茶 昭和堂」は、音楽という共通の趣味を通じて男性も気軽に参加できる居場所となっています。レコードでお気に入りの曲を聴いてもらいたい方、懐かしい音楽を楽しみたい方、音響機器に興味のある方、昭和時代の思い出を語り合いたい方など、それぞれが思い思いの楽しみ方で参加されています。

また、向笠社協の協力により、コーヒーやお茶、少しのお菓子を提供し、喫茶店のような雰囲気の中で自然な交流が生まれています。音楽をきっかけに会話が弾み、参加者同士の新たなつながりづくりの場にもなっています。

今後は、7月19日(日)から向笠交流センターで、毎月第3日曜日の午後に開催していきます。これからも地域の皆さんが気軽に集い、音楽や会話を楽しみながら交流を深め、生きがいを感じられる居場所として継続していきます。



南御厨地区

「南御厨せいかつ応援倶楽部」 活動スタートしています！

南御厨地区では、「お互いさまの心が通う南みくり」をスローガンに様々な地域活動を進めています。

(令和8年度は9地区実施)

令和7年度には、市内10地区目となる地域せいかつ応援倶楽部「南御厨せいかつ応援倶楽部」が立ち上がりました。せいかつ応援倶楽部は、ごみ出しや掃除、話し相手など、日常生活での“ちょっとした困りごと”を地域で解決する支え合い活動です。「頼れる人がいない」「誰かと一緒にできそう」など、そんなときにはお気軽にご相談ください！まずは、取組みを知っていただき、地域に根付いた支え合い活動として広がってほしいと思います。



南地区

みんなで楽しむサロン運営

南地区社協健康福祉部・福祉委員の皆さんが、高齢者サロンで活用できるレクリエーションを体験し、交流会を実施しました。

サロンで簡単に楽しめる「のっけテーブル」や「色カルタ」の体験をし、勝負あり笑顔ありの楽しい時間を過ごした後、交流会では参加への呼びかけ方法や企画内容など、サロン同士の課題を共有する時間となりました。

紹介されたレクリエーションは手軽にできて楽しめるため、今後高齢者サロンで活用していただき、大いに笑い合ってほしいです。



編集／発行

社会福祉法人 磐田市社会福祉協議会

〒438-0077 磐田市国府台57-7

TEL 0538-37-9617

FAX 0538-37-4866

磐田市社会福祉協議会
マスコット
キャラクター ふくぴー

